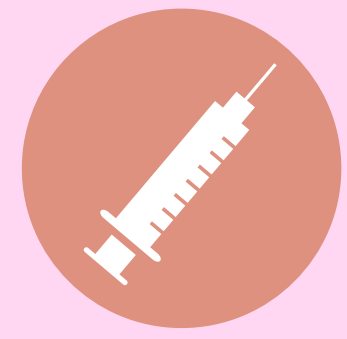


RSウイルス予防接種



はじめました



RSウイルス感染症とは、RSウイルスに感染することでおこる呼吸器系の感染症です。生後1歳までに50%以上の赤ちゃんが、2歳までにほぼすべての赤ちゃんが感染します。

産まれてから6か月以内の赤ちゃんの免疫は未成熟であり、RSウイルスに感染すると重症化しやすく、注意が必要な感染症の1つです。

母体にワクチンを接種してできた抗体が、母体から胎児に移行することで、産まれた後の赤ちゃんのRSウイルスを原因とする下気道疾患の発症や重症化を防ぎます。

費用：33000円（税込・診察料込）

接種対象：妊娠28週～36週の方(推奨)

※接種は24週から可能です。



RSウイルスについては
こちらをご覧ください

ご希望の方は、健診の際にお申し出ください。または予約電話からご予約ください。



厚生中央病院 産婦人科
2024年9月